

平成の科学技術の進歩シリーズ
ライフサイエンス編

【ヒトiPS細胞がもたらす再生医療の未来】

2012年、京都大学の山中先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。iPS細胞 (induced pluripotent stem cell) の生成に基づく「成熟細胞が初期化され多能性をもつことの発見」が受賞理由でした。今回の講演では、このiPS細胞に焦点を当ててお話しします。どのような細胞なのか？何が革新的なのか？そして、この細胞によって、再生医療という新しい治療法の開発が進みつつあります。この細胞が導く医療と学問の世紀について、我々の研究を交えてお話ししたいと考えています。



医学系研究科 再生医療学
准教授 白吉 安昭

開催日：令和元年5月11日(土)

時間：10時30分～12時00分

会場：鳥取県立図書館2階大研修室

ライブ中継先

米子市立図書館、倉吉市立図書館、琴浦町図書館
加藤文太郎記念図書館

参加費
無料

申込
不要

お問合せ

鳥取大学地域価値創造研究教育機構
(企画管理室)

TEL:0857-31-6777

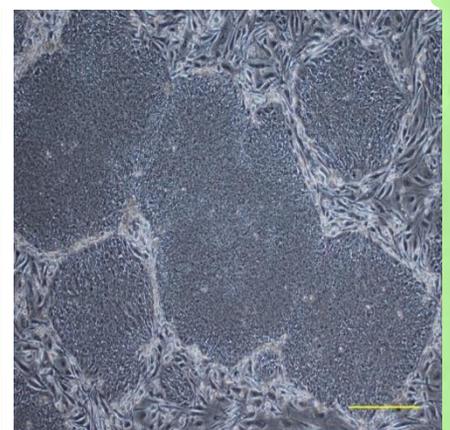
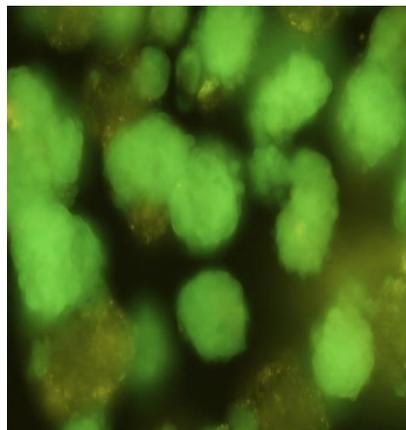
E-mai:koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

主催

鳥取大学

共催

鳥取県立図書館、米子市立図書館、
琴浦町図書館、大山町立図書館(本館)
倉吉市教育委員会(倉吉市立図書館)、
日野町図書館、南部町立法勝寺図書館



GFP心筋agg(左)、人iPS細胞(右)